

白浜町 議会だより

No.42

平成28年（2016）11月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



みんなでがんばる運動会（140年の歴史に幕をおろす市鹿野小学校）

CONTENTS

■ 平成28年第3回定例会等	P. 2～3
■ 一般質問（平成28年第3回定例会）	P. 4～11
■ 活動報告	P. 12
■ 傍聴のご案内	P. 13
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 14

決算審査特別委員会を設置

白浜町議会平成28年第3回（9月）定例会は、9月6日招集、16日間の会期予定でしたが、4日目に議案審議がすべて終了し、9月16日をもって閉会したため、11日間の会期となりました。

当局から提案された案件は、条例改正1件、一般会計、特別会計補正予算3件、報告6件、その他の案件8件、また、議会提出案件は6件で、すべて可決、承認しました。決算認定関係については、決算審査特別委員会を設置して閉会中の継続審査としました。

定例会2日目から3日目には一般質問が行われ、8議員が登壇し、町長及び教育長に質問をしました。

□ 条例改正

○白浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、関係規定を改正。

□ 補正予算

○平成28年度白浜町一般会計補正予算（第2号）

既定の歳入歳出予算の総額に3億8千90万円を増額し、歳入歳出予算総額を122億590万円

主な補正内容は次のとおり。

（単位 万円未満四捨五入）

【総務費】

・財政調整基金積立金

1億6千600万円

・庁舎等整備基金積立金

5千万円

・ふるさと白浜応援寄附金事業

1億2千338万円

・日置川事務所別館解体撤去事業

2千300万円

・地籍調査事業

△4千679万円

【民生費】

・自殺対策相談支援事業

13万円

・三段壁自殺対策看板設置事業

50万円

【農林水産業費】

・農地活用総合支援事業補助金

10万円

・多面的機能支払事業交付金

63万円

【観光費】

・サイクルステーション運営事業

77万円

・小規模事業者地域活力活用新事業全国展開補助事業

100万円

【土木費】

・住宅耐震診断・改修事業

136万円

【教育費】

・安居小学校・市鹿野小学校統廃合事業

139万円

・富田中学校屋内運動場改築事業

1千万円

【災害復旧費】

・農業用施設等災害復旧事業

800万円

・林道施設災害復旧事業

418万円

○平成28年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に3千700万円を追加し、歳入歳出予算総額を38億4千843万4千円

○平成28年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に2千887万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を27億9千440万2千円

○平成27年度白浜町水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分

平成27年度白浜町水道事業特別会計未処分利益剰余金を利益積立金として8千74万5千571円

□和歌山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び和歌山県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議

和歌山県市町村総合事務組合規約に規定する常勤の職員に対する退職手当の支給に関する事務を紀南環境衛生施設事務組合

と共同処理するため、和歌山県市町村総合事務組合規約を変更。

□物品購入契約

○消防ポンプ自動車更新事業(白浜消防署)に係る物品購入

【数量】 消防ポンプ自動車1台

【契約金額】

3千547万8千円

【契約の相手】

和歌山県西牟婁郡上富田町朝来字里田1407番地の4

和歌山日野自動車株式会社田辺支店

支店長

田中 勝則

○消防車両更新事業(日置川第14分団)に係る物品購入

【数量】 消防ポンプ自動車1台

【契約金額】

1千339万2千円

【契約の相手】

和歌山県西牟婁郡上富田町朝来字里田1407番地の4

和歌山日野自動車株式会社田辺支店

支店長

田中 勝則

□決算審査特別委員会の設置

平成27年度の各種会計の決算審査認定について、監査委員の意見書を付けて提出されました。これらの決算審査について、

白浜町議会では、各常任委員会から委員を選出し、6人の委員からなる決算審査特別委員会を設置して、議会閉会中に継続して取り組むこととしました。

【委員長】 廣畑 敏雄

【副委員長】 堀 匠

【委員】 辻 成紀

西尾 智朗

古久保 恵三

玉置 一

平成28年第2回臨時会

白浜町議会平成28年第2回臨時会は、7月27日招集、1日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正1件、その他の議案2件、また、議会提出案件は1件で、それらすべてについて可決承認しました。

□条例改正

○白浜町企業誘致促進条例の一部を改正する条例

優遇措置を平成29年3月31日から平成34年3月31日まで延長する改正

□工事請負契約

○白浜町役場本庁舎耐震補強工事

【契約金額】

7千20万円

【契約の相手】

和歌山県西牟婁郡白浜町

3777番地の7

株式会社稗田工務店

代表取締役 稗田 良章

□富田共有財産組合委員の選任について

次の方を同意しました。

(敬称略)

・野々田 憲市(富田)

平成28年第3回定例会一般質問（登壇順）



三倉 健嗣 議員
(一問一答)

- ・ 小学校の統廃合
- ・ 社会教育施設に対する考え方について

問 市鹿野小学校と安居小

学校の統廃合は、来年度4月から実施されるというが、議会に対しては、初期および中間報告はまったくなく、結果報告で終えた。これは、議会を軽視した行動ではないか。「是正を求める。」

また、当該地域の方々には、十分理解を得られたうえでの話なのか。

答 学校の統廃合については、保護者や地域住民の皆様と慎重に審議を進める必要があり、一定のご理解を得たうえで、議会に報告する予定で進めてきた。遅くはなったが、予算措置及び条例改正の前に議会へ報告している。

問 通学路についての対策

については、どのように対処したのか。通学道路の県道大塔日置川線の市鹿野橋から玉伝口間は、土砂崩れや路肩の崩壊が起こりうる」とされた危険道路である。

この道路が通行止めにな

った場合、迂回路は、深谷から鮎川新橋、311号線を通り、生馬橋、卒塔婆トンネルを抜ける道路で、36・6kmの距離となる。合計51・1kmの行程を1時間10分、日に2時間20分、小学校の児童が通うことになる。町の考えはいかがか。

答 通学路の安全については、地元説明会でも意見を

いただいた。教育委員会としても、児童生徒の通学にかかる負担軽減と安全確保は、常に意識しなければならない。

らない。しかし現状では、

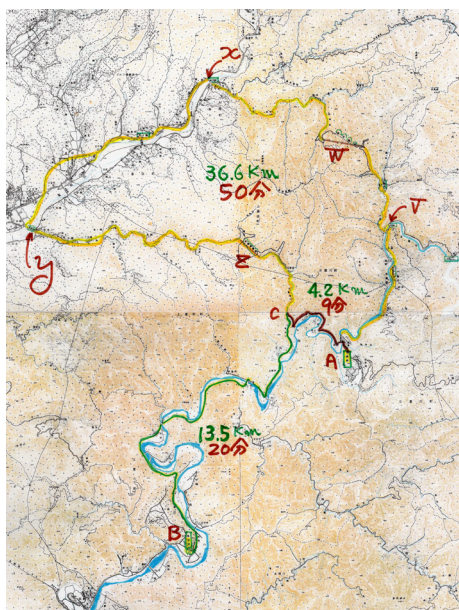
通学路が通行止めになった場合、迂回路を通るしか通学の方法はない。

問 当該県道の改修工事について、以前から再三再四、

質問しているところだが、県は町の対応を理由に要望には、応じてくれないと推測する。町当局は、早期に対応にあたるべきではないか。

答 県道の拡幅については

町やほかの団体から県へ要望し、「紀勢自動車道の供用により交通の流れが変わ



(災害時の通学路の迂回路)

A C間が通行止めになると

V, W, X, Y, Zを迂回)

ることから周辺道路の整備状況を勘案し検討する」との回答をいただいている。県道改修は合併時の重要課題であることから県と充分協議し、対応する。

問 町営日置プールが今年

の夏休みに使用できなかった。なぜ使用できなかったのか。使用禁止についての周知も怠っていたところがあったが、町はどう考えているのか。来年の夏には、このようなことがないようにできるのか。

答 プールの本稼動を行っ

た際、循環系に異常があった。その時点で修繕を行うと、学校等のプール授業に影響すると判断し、管理の徹底をお願いし、プール授業を優先させた。周知の方法は、今後、検討する。また、修繕は、来年度のプール授業が、安心、安全に実施できるように検討している。



まるもと やすたか
丸本 安高 議員
(一問一答)

- ・ 湯崎地区漁業振興施設について
- ・ 市鹿野湿地地域の排水路について

問 平成28年3月議会で漁業振興施設整備負担金が一部、減額のうえ承認され、支出された。平成28年3月議会で「負担金が赤字の補填であれば、協定書の第3条に抵触ということになると思う。仮に赤字補填ということになりましても、まず、予算なりがなされた後、協定書の変更をすれば、当然それは協定の抵触ではない。」さらに「抵触するということになれば協定は相



(フィッシャーマンズワーフ白浜)

手方との協議等により修正させていただき、それで法的に問題がないということで取り扱いをしまっているのが通常」と答弁されている。それであれば、協定に抵触する赤字補填であつても、議会で予算が可決されれば、可決後、協定書の変更、修正をすれば、協定に抵触しない。法的にも問題ないとの理解でいいのか。

答 第1回定例会でもそのような趣旨でお答えさせていただいた。指定管理は、まず、議案として議会の承認をいただく。その後、その内容では事業を運営するのが難しいということになれば、指定管理者と事業を継続させる方策を協議させていただき、協議が整って条件が変わるのであれば、議会に説明させていただいて必要な予算を議決いただくことになる。その後、協定の内容を変更するというこ

とになるので、赤字補填も可能である。

問 市鹿野の排水路については、平成23年の2つの台風で床上、床下浸水が起き、平成23年12月議会で質問をした。答弁は「既存の側溝が排水以上になり、オーバーした水により生じた災害であると思われる。調査を行い、結果により排水整備に取り組みたい」と答弁している。放置しておくのか。

答 平成24年度に市鹿野地区全体の排水路の現況調査を行い、2つの問題点が明

らかになっている。1点目の上村商店様付近の排水路断面不足により水が溢れることについては、昨年度と今年度で改良工事を実施した。2点目の川添石油店様下流側で幹線排水路が直角に曲がっていて流れが悪く水が溢れることについては、県道排水路との関係もあり、工法等も含め県と十分協議をしながら排水整備に取り組みでいきたい。

※このほか、丸本議員は職員の窓口応対についてを質問しました。



(県道下に2本目の排水路が望まれる)

- ・中学生議会について
- ・長年通行止めになっている
権現崎遊歩道の改修について
- ・フィッシャーマンズワープ白浜について



ふるく ぼ けいぞう
古久保 恵三 議員
(一問一答)

問 毎年、夏休みに開催されている中身の濃い中学生議会であるが、参加する生徒が各校の代表2人の8人では、実にもったいない。

議場をフルに活かして、参加する生徒を増やし、質疑内容も多くの生徒とともに取り組み、勉強の場として、議会の雰囲気より多くの生徒が体験できないのか。

答 ご指摘の件は、日頃から思っている。質問者は、生徒会の代表であるので、少なくとも生徒会の役員全員が参加できるよう、学校に依頼したい。これを契機に少しずつ参加生徒が増えていけば、中学生議会も盛りあがると考えている。

問 平成19年から9年間と長期に渡り、通行止めになっている権現崎遊歩道の整備改修にはどのような問題点があるのか。現在まで具体的な現地の調査研究はなさ

れたのか。財政面も含めて問題点を問う。

答 山側のり面からの巨大な落石が多く、通行者の安全を最優先に考え平成19年6月から通行止めに行っている。過去には現地調査を行い補修工事を実施してきたが、抜本的な対策には莫大な工事費が必要となり、補助金事業を模索したが該当するものがなく、町費のみでの対応は困難なため現在に至っている。



(通行止めになっている権現崎遊歩道)

問 遊歩道を復旧させるとなれば関係する民間団体や国、県、諸官庁との対応はどうか。

答 遊歩道に天然記念物の泥岩岩脈等があり、関係省庁との協議は必要となる。また、国、県の交付金等も積極的に活用できるように取り組みたい。

問 町は権現崎遊歩道改修整備を重点取組施策としているが、町長の意気込みと熱意はいかがか。

答 予算面や安全面、また土地所有者等の関係機関との協議も必要となるが、一日でも早い整備ができるように方向性を見出していきたい。

問 施設の指定管理者が和歌山南漁業協同組合であり、期間も平成28年3月末まででありながら、指定管理

に関する協定書の変更をしないままで、期間内の3月25日に赤字補填として、組合でなく株式会社フィッシャーマンの口座に2千330万円の負担金を支出した理由は。行政の町長公印を使って交わす約束事。協定書の意義と町民目線での価値観を問う。

答 施設の初期投資に対する負担金であり、指定管理の期間とは何ら関係ないものと理解しており、少しでも早く支払うことが望ましいとの判断により支払った。議決後に和歌山南漁業協同組合と株式会社フィッシャーマンの3者で契約を締結し、その後の25日に漁協内で運営を担当している株式会社フィッシャーマンの口座へ振り込みをさせていただいた。



たまき はじむ
議員
(一問一答)

- ・水道送配水管の耐震化について
- ・観光活性化について
- ・町有財産の活用

問

大地震に襲われた場合の被害を想定し、復旧、復興をどのように進めるか。また、復旧できるまでの間、水不足が住民に及ぼす影響はどれほどのものかを神戸水道施設耐震化基本計画等に学び具体策を練ってはどうか。

例えば、白浜はまゆう病院は1日に100立方メートルの水を使用しているが、町が保有している給水タンクの総容量は9・4立方メートルしかないが、どのように対応するのか。

答

災害が発生し断水が生じた場合は、漏水補修工事を行うことが喫緊の課題であるが、水道の復旧見通しが立たない場合は、給水車による応急給水を行うことになる。

応急給水は、災害時の拠点病院、医療施設、指定避難所、社会福祉施設等々に順じ給水を行うこととして



(災害時の水不足が懸念される白浜はまゆう病院)

いるが、被災した町の給水対応だけではカバーできない場合は、災害時の相互応援協定等に基づいて、ほかの市町からの応援をいただくことになる。

問

今年の白良浜海水浴場の利用客数は約59万人と報告があったが、天候にも

恵まれたにも関わらず微増に終わった。来年の白良浜の利用客数増に向け、今から検討し、浜のあり方を考え、もっと魅力あふれる白良浜をつくっていかねければと思うがいかがか。

海水浴だけの浜ではなかなかお客様を呼べない。その他の海で利用できる施設も取り入れ、新たなお客様の開拓も視野に入れた取り組みをしていきたい。

答

白浜の観光宣伝を考えると、今のやり方ではないのか。現在の客層、また客の満足度等深く掘り下げて研究、検討し、より効果的な宣伝を心がけてはどうか。

問

温泉、世界遺産、国立公園とこのように恵まれた観光地は少ない。旧態依然の情報発信だけでなく、インターネットなどの媒体を利用してもっと国内外問わずの情報発信をおこない、活性化していきたい。

答

現在所有する土地、建物等の活性化をはかるべきだと思うがいかがか。例えば町が運営する千畳茶屋において売り上げがピーク時の半分という状況を打破するため繁盛店に仕立てる努力をすべきだと思っていかがか。

問

千畳茶屋については、現状においても運営等を鋭意、協議中である。外国人観光客も多くなっているものの、爆買いをする人は少なくなっている状況である。今後は、経営コンサルタントを入れて、何が売れて、何が売れないのかも含め分析をおこなう。

答

7 NO. 42

・ごみ焼却施設、最終処分場の 広域圏の動向



くすもと たかのり
楠本 隆典 議員
(総 括)

問 この問題は一部事務組合で議論されているところ

で、焼却施設については理事会において「2020年を目途に一本化する」という当面の目標を白紙撤回し、「将来的な一本化の方針は維持する」ことを確認したが本音の議論はできているのか伺う。

日置川焼却施設も老朽化で抜本的解決にならないし、マテリアルリサイクル推進事業についても保呂区関係者、日置川地区のご理解が必要である。町内の焼却炉の一本化に早急な取り組みが必要で、下流域の内ノ川区に対しても設置区の協議が整い次第丁寧な説明が必要であると思うが当局の見解はいかがか。

答 平成32年度を目途にごみ焼却施設を広域一本化するという広域圏組合の方針が断念、白紙撤回され、各自治体においては今後、ごみ処理に関する議論が活発化していくと考える。担当者をはじめ、各市町と真剣に協議・議論していきたい。

日置川ごみ焼却施設の現状から、現在のごみ処理を見直す必要があると考えており、清掃センター設置区、日置川地域住民のご理解が得られるよう、全力で取り組む。また、協議が整えば、内ノ川区のみならず関係者に報告をする。

問 最終処分場の広域化の進捗状況について伺う。なぜなら樺最終処分場が平成30年が期限で延長協議の申し入れがあった。18年も経過すると老朽劣化により機器の損傷が目立つようになった。供用開始当初、塩分濃度が高くなり、杉の枯死問題等課題が多かったが現在は比較的順調と聞いているが、樺区、地権者、漁業関係者に広域の問題も含め

丁寧な説明をされたい。

日置川の家谷の最終処分場においても、すさみ町との関係もあり、緊密な連携が必要と思われるが当局の見解はいかがか。

答 紀南環境広域施設組合が進めている広域廃棄物最終処分場整備事業の進捗状況だが、平成27年度中に全事業用地の約7割の用地取得を進めている。また、大辺路衛生施設組合を組織しているすさみ町とも、緊密な連携をはかりながら、今後も協議していく。

得を終えている。

樺地区の町最終処分場の延長協議については、その必要性や施設運転管理状況、町の考え方を設置区、土地所有者、漁業関係者それぞれに丁寧に説明し、ご理解を得ていきたい。

また、大辺路衛生施設組合を組織しているすさみ町とも、緊密な連携をはかりながら、今後も協議していく。



(樺地区にある白浜町最終処分場)



み な み かつ や
南 勝 弥 議員
(一問一答)

・図書館について ・フィッシャーマンズワーフ白浜の 指定管理について

問 図書館は本館、分室ともに午後5時終了である。さらに、中央公民館にある図書館分室は、昼休みは閉められる。休館日も含め時間を再検討すべきではないのか。

答 現在、各分室の職員配置が臨時職員1人となっており、この職員体制では開館時間等の改善は難しい。

問 以前、新図書館建設構想の説明を受けたが、まったく進んでいない。進展はあるのか。

答 教育委員会では、町立図書館整備基本構想に明記しているように、図書館の早期完成を目指しているが、財源の確保、建設場所の選定等の課題解決には至っていないのが現状である。

問 フィッシャーマンズワーフ白浜は計画段階から



(フィッシャーマンズワーフ白浜)

家賃等、収入と建設コストがまったく見合っていない。売り上げ金、すべてが運営者側ではないのか。

答 この施設ができた当初の町の取組みの一部が後手後手に回ったり、想定外のこともあったが、地域の活性化につなげる観光拠点となる施設である。

問 利益が出ないことばかりを続けていくとさらに税金を投入せざるを得ない。町の考えはいかがか。

答 観光拠点だけでなく就業の場としても大いに期待しており、町民のため、観光客のためにもこれから大きな役割を果たす施設である。

問 人が集まったとか、活性化したというのは、自立して黒字になってこそ言えるのではないか。

答 今までの累積的な赤字をカバーして黒字経営にできるような継続した取組みを、国や県の力も借りてやっていかなければならない。

問 運営者に金銭的な負担はかけられないというが、一般会計からの繰り入れは町民負担である。町の考えはいかがか。

答 平成27年度の黒字となった状態を継続するために、町民の皆様にもいろいろな指導をいただきながら

頑張っていかなければならない。

問 違った説明をして売った商品は無効だと言われる。この施設に関しても違った説明をして議会議決をした例も多々ある。勝手に変更して、議会に説明がなかったこともあった。これでは、議会議決も無効だと言われないか。

答 この施設は、オープンする前の段階から紆余曲折があった。反省は多々あるが、オープンした後の立て直しをしていかなければならない。

- ・経済対策と消費喚起施策について
- ・観光施策について
- ・子育て支援について



みずかみ くみこ 議員
水上 久美子
(一問一答)

問 町の賑わいや交流人口拡大と魅力ある通年型観光など町にはグランドデザインがあるか。具体的にどう実行し、人材育成や雇用の創出もどう計画するのか。

答 今の地方創生に乗り遅れないように、経済対策は基本であるが、人口減少にどのように対応していくか。雇用の確保、就労支援をできるよう定住促進策を進めていきたい。

問 観光における経済波及効果、ここ数年の動向と今後に向けての対策はいかがか。

答 盆を避ける方が数年は多かったが、今年は、盆に集中した傾向があった。今後は、白浜に何かもとめられているかも調査し、強み、弱みを分析していきたい。

問 今夏も白良浜のごみ捨てマナーが悪い。どう対処

するのか。また、水上バイクが漁業者が素潜り中、間近をフルスピードで通り抜ける。禁止行為適用期間適用区域などが決められていないのか。近年京阪神で遊走禁止や条例制定し、規制のあるビーチが多い。何の規制もない白浜でいいのか。

答 更なる環境美化の啓発に努めていく。水上バイクについては、和歌山県遊泳者等の事故防止条例に基づき、注意喚起をおこなっている。それ以上の規制については、協議が必要である。

問 フラワーライン全線供用開始と道の駅や活性化施設等についても数年提言した。町のプロジェクトチーム設置案はその後、どうなっているのか。

答 活性化施設等については、具体的にどういう所に何が必要なのかを含め、今後

関係者と協議していきたい。

問 標識、看板の退色や老朽化とガードレールのさびも景観を阻害する。町の美化も観光地資源で施策の大きな課題。調査と整備が改めて必要である。対処できるか。

答 町の標識などは、限られた予算ではあるが計画的に更新工事を実施している。また、民間の不適格な看板等については、点検パトロールを行い和歌山県屋外広告物条例に基づき、改善や撤去の指導を行っている。



(今夏約59万人が訪れた白良浜)

問 白良浜海水浴場中央部がすり鉢状で昨年も質問した。白良浜の海岸整備についてまったく善処は見られず、どう対処するのか。

答 昨年、県へ要望書を提出し、高波対策をお願いした。年明けから専門家が調査をしている。海岸整備の一環として県が浜の砂押しをし、浜が広くなり、今年は遊泳禁止が1日となった。

問 子育て支援に町の課題や解消に向けての対策と低年齢児からの保育園ニーズ、保育士の増員と職場環境等の考え方はいかがか。

答 低年齢児の保育園の利用ニーズは年々高くなっており、それに合わせた職員配置や処遇改善の検討を進め、国の動向も見据えながら子育て世帯の実情に沿った取り組みをしたい。



ひろはた としお
廣畑 敏雄 議員
(一問一答)

- ・「核兵器廃絶平和宣言の町」
のとりくみを
- ・75才以上の高齢者も集団健診を
- ・公民館等の利用について
- ・平草原公園の整備について



(「核兵器廃絶平和宣言の町」の看板)

問 「核兵器廃絶平和宣言の町」の宣言をして、町民の取り組みを支援しているが、もう一歩進んで、私たち自身と子どもたちが被爆体験をどう受け継いでいくのか。原水爆禁止世界大会への親子の参加や被爆者や被爆の語り部などを招いた集いなど創意工夫ある活動が必要と思うがどうか。

答 原爆が広島市に投下された8月6日、そして長崎市に投下された8月9日に、犠牲となられた原爆死

没者の追悼と平和を祈念するため町内放送を行い、町民の皆様とともに黙祷を捧げ、核兵器廃絶と世界恒久平和を願っているところである。また、小学6年生の社会科授業で戦争について学習を行っており、中学校でも平和学習を開催している。提案のあった世界大会への派遣は、今後の検討課題である。

問 後期高齢者の集団健診について、全国的に県の後期高齢者広域連合の検診を個別健診だけでなく、集団健診を市町村に委託する広域連合が多く、町としても後期高齢者としてもメリットもあるといわれているが、町として委託の依頼があればどう取り扱うのか。

答 集団健診会場での健康診査受診について、集団健診委託先との協議や案内等の事務、健診後の情報提供・

保健指導に係る体制等を踏まえて検討し、後期高齢者広域連合と協議していきたい。

問 図書館白浜分室の昼休みの開館については、昨年の6月頃から昼休みは閉館となっているが、新図書館の建設が進んでいないのか、利用者は昼休み、白浜分室を利用して過ごす。新図書館が建設されるまで今の機能を残しておくことがささやかな利用者への配慮だと考えるがどうか。

答 現在、白浜分室は、臨時職員1人の配置となっており、職員への負担、労働基準法の遵守を考慮すると、恒常的に正午開室を維持するのはたいへん困難である。今後、本館の利用促進に力を入れてまいりたい。

問 平草原公園、特にトリムコースは、心身の健康維持のため、多くの方が利用

している。雨が降って、水道ができ、歩いたり、走ったりしにくい。この改善についてはどうか。

答 現状は、利用者の安全を確保できるように、観光課の職員が中心となって随時整地等をおこなっている。今後は、中長期的な計画を立て、補助金、交付金を活用できるように調査研究をしていきたい。



(平草原公園のトリムコース)

活

動

報

告

和歌山県町村議会全議員研修会



8月5日、日高川交流センター（日高川町）において、和歌山県町村議会全議員研修会が行われ、白浜町議会からは12人の議員が参加しました。

研修会では、プロ野球解説者の広澤克実氏から「野球界におけるリーダー論 ～野村・長嶋・星野に学ぶ～」というテーマでリーダーとは何なのかについてご講演いただき、地方自治体におけるリーダーのあり方を改めて、考えさせられ、たいへん有意義な研修会となりました。

本会議の録画配信！

録画配信とは

議場で行われる本会議の定例会、臨時会の様子を録画、録音したものをインターネットを通じて、配信するものです。

傍聴にお越しになれない町民の方などに手軽に議会の様子を見ていただくため、開始しました。

方 法

白浜町議会のホームページをご覧ください、録画配信から最新の定例会、臨時会の映像をご覧ください。

登録等は不要で、インターネットの回線があればどなたでもご覧いただけます。

録画配信をご覧になるには、Adobe社のAdobe Flash Player（無償）のインストールが必要です。スマートフォンなどの携帯端末には対応しておりません。

白浜町議会ホームページアドレス

<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/gyousei/gikai/index.html>

傍聴のご案内

傍聴について

傍聴は、議員の活動、町長の考えや町政の方針を知る最も身近な方法です。
簡単な手続きでどなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にお越しください。

手続き

傍聴人受付簿に、住所、氏名をご記入いただき、傍聴席へお入り下さい。

傍聴席数を超える傍聴人数が予想される場合は、傍聴券を発行することがあります。



(傍聴人受付簿)

傍聴席

- 議場の傍聴席は、一般席20席、記者席5席です。
- 傍聴席には限りがありますので、先着順とさせていただきます。
- 白浜町ホームページで本会議の録画配信を行っています。傍聴席が背景の一部として映りますので、ご了承の上、傍聴願います。
- 傍聴席に空きがない場合、録画に映りたくない場合は、議場隣の委員会室にて音声のみお聞きいただけます。
- 審議や他の傍聴者の妨げにならない範囲で、会議中の入場や途中退席をすることもできます。



(傍聴席)



(議場全体)

町議会・町議会議長の主な動き (7月1日～9月30日)

9月6日	30日	24日	19日	18日	6日	5日	8月3日	28日	27日	26日	22日	21日	20日	19日	15日	14日	6日	4日	7月1日
第3回定例会(第1日) 議会運営委員会	議会運営委員会 投身者供養 議員懇談会	紀南看護専門学校起工式 中学生議会 議会定例会	田辺周辺広域市町村圏組合 議会定例会	県町村議会全議員研修会	和歌山県後期高齢者医療広域連合議会	富田川衛生施設組合議会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会	富田川治水組合議会 第2回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会

議会の傍聴に お越しく下さい

次回の12月定例会は

12月6日(火)

から開催予定です。

30日	28日	16日	15日	14日	9日	6日
政調査	観光建設農林常任委員会 議員懇談会 決算審査特別委員会 議員懇談会	第3回定例会(第4日) 議会運営委員会 議員懇談会	第3回定例会(第3日) 議会運営委員会 議員懇談会	第3回定例会(第2日) 議会運営委員会 議員懇談会	敬老会	全員協議会 議員懇談会

編集後記

各校で運動会も終わり、秋の実りに感謝する祭りの笛、太鼓の音が聞こえてくる季節となりました。

先日、町民の方から議会だよりは要約しすぎ、臨場感に欠けるとご意見をいただきました。当委員会としても、わかりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけてまいります。今後とも意見等お寄せいただければと思います。

また、議会の傍聴は、簡単な手続きでどなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にお越しください。

さらに、4月より議会の録画配信を開始しましたので、多くの皆様に議会の審議内容をご覧いただければ幸いです。

議会広報特別委員会

委員長	玉置	一
副委員長	堀	匠
委員	西尾	智朗
委員	丸本	安高
委員	廣畑	敏雄
委員	南	勝弥